

日医発第 2212 号（健Ⅱ）
令和 5 年 2 月 24 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菫 敏

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について

日本小児科学会、日本医療研究開発機構（AMED）の実施するおたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査については、令和 3 年 8 月 25 日付（健Ⅱ 280F）をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、厚生労働省より、各都道府県等衛生主管部（局）宛標記の事務連絡がなされるとともに、本会に対しても周知方依頼がありました。

本事務連絡は同調査が令和 5 年 3 月をもって終了となることを踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただけるよう、再周知を依頼するものです。

同調査は、おたふくかぜワクチンの定期接種化を検討するための参考資料とすることを目的としており、1 歳から小学校就学前までの小児を対象に、接種後の副反応の有無を把握する一次調査と、一次調査で副反応を疑う症状が出た症例の詳細な検討を行う二次調査の二段階調査となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、郡市区医師会及び関係医療機関に対する周知方、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

（参考）

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査について：

<https://mu-vs-d-faq.children.jp/>

厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会における予防接種制度の見直しについて（第二次提言）：

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002b6r0.html>

第 15 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会：

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08940.html

事 務 連 絡
令和 5 年 2 月 21 日

公益社団法人日本医師会 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への
協力依頼について（周知）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おたふくかぜワクチンについては、平成24年5月にとりまとめられた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」において、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの1つとされ、定期の予防接種に位置づけるかについて検討を進めてまいりました。その検討の中で、令和2年1月の第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関し、データが不十分であり、さらなる調査が必要とされました。そのため、令和3年4月1日より、公益社団法人日本小児科学会および新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究班が合同で、おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査を実施しております。

本調査が令和5年3月をもって終了することも踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただくために、別添のとおり、各地方公共団体に対して、関係機関等への周知を依頼しました。

貴会及び地域医師会におかれても、別添通知の内容について御了知いただき、当該調査について、貴会会員に周知をお願いいたします。

以上

事 務 連 絡
令 和 5 年 2 月 21 日

各

都道府県
市 町 村
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への
協力依頼について（周知）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おたふくかぜワクチンについては、平成24年5月にとりまとめられた「予防接種制度の見直しについて(第二次提言)」において、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの1つとされ、定期の予防接種に位置づけるかについて検討を進めてまいりました。その検討の中で、令和2年1月の第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度に関し、データが不十分であり、さらなる調査が必要とされました。そのため、令和3年4月1日より、公益社団法人日本小児科学会および新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究班が合同で、おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査を実施しております。（※）

現在、既に多数の医療機関にご協力いただいておりますが、本調査が令和5年3月をもって終了することも踏まえ、より多くの医療機関にご協力いただく必要があるところです。つきましては、管内の医療機関に当該調査に係る周知方、お願いいたします。

以上

（※）おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査についての詳細な説明は、適宜下記のURLよりご確認ください。

<https://mumps.children.jp>

また、登録方法については、添付の資料をご参照ください。（添付の資料については、2023年2月中に、日本小児科学会から日本小児科学会会員宛に郵送される予定とのことです。）

Mumps Vaccine Safety Database への入力について

ご協力いただいた被接種者の情報は、以下の手順に従い入力してください。

1 調査用Webサイトにログインする

- ① 調査用Webサイトにアクセスする
サイト名「Mumps Vaccine Safety Database 副反応報告集計」

Mumps 集計

検索

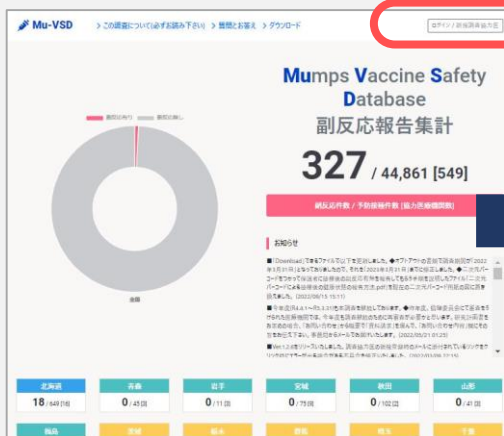
https://mumps.children.jp



- ② 画面右上「ログイン/新規調査協力医師」をクリックし、ログイン画面へ移動する

調査協力医へ登録済の場合

メールアドレス、パスワードを入力してログインしてください。



すでにパスワードをお持ちの方はこちらからログイン

調査協力医メールアドレス

パスワード

ログイン

Ver.1.2.12

パスワードを忘れた方

この調査に協力していただける医師は、まず連絡のために使うメールアドレスを入力して下さい。
調査協力医を登録するページのURLをお伝えします。

※メールアドレス:

送信

調査協力医へ未登録の場合

メールアドレスを入力し、調査協力医の登録手続きをお願いします。

2 マイページ上部から二次元コード印刷画面へ移動する

- ③ 二次元コード印刷はこちらをクリック

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ

ようこそ、多屋 零子 (ktaya@nih.go.jp) 様

■ マイページ ■

ログイン医師名: 多屋 零子 (ktaya@nih.go.jp) プロフィール修正

所属: 神奈川県衛生研究所

QRコード印刷 質問とお答え(FAQ) ダウンロード

■ 新規接種例登録 ■ 【電話法】で接種後4・8週間の副反応を調査協力医自身が報告する場合はこちらで登録を開始して下さい。【QRコード法】で保護者のQRコード読取りにて無症状報告を受ける場合は、まず上の「QRコード印刷」をクリックしてあらかじめQRコード用紙を印刷。そして接種後に保護者に左半分を渡し、新規接種例登録をして下さい。

●接種例の一括インポートはこちら

期間後の

接種した期間を選んで下さい。その期間におおむね1ヶ月のデータを検索した結果を表示します。

3 二次元コード報告用紙を印刷し、保護者へ渡す

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ データ一覧 接種履歴 データ分析 ログアウト

ようこそ、多摩署子 (感染症 多摩) 様

■ QRコード印刷 ■

感染研 多摩

QRコード報告用紙の利用について

保護者から副反応はなかったことを、簡単に報告してもらえ手順を準備しました。報告日(接種4,8週間)に保護者が用紙のQRコードをスマートフォンで読み取ってもらえば、副反応はなかった事がデータベースに報告されます。

QRコード報告用紙には、印刷時にデータベースが未使用のIDを作り出して、毎回すべての用紙に唯一無二のIDがそれぞれ印刷されています。一人の被接種者に一つの用紙をお使い下さい。

【利用の重要ポイント】

- 被接種者ID用紙が足りなくなれば、毎回マイページから、必要枚数を選びダウンロードして下さい。
- 例えば10人分が必要なら、10枚を選びダウンロードして下さい。
- 印刷枚数は毎回必ず「1枚」にしてください。

【注意！】以下の利用・操作は決して行わないようにして下さい。

- × 用紙が足りなくなったので、過去にダウンロードしたPDFを、再度印刷して使う。
- × 既に印刷してある用紙をコピーして使う。
- × 印刷枚数を「2枚」以上にする。

印刷したいQRコードの枚数を指定して、「印刷実行」ボタンをクリック。

クリック後PDFが開きますので、印刷の印刷枚数は1枚です。印刷して下さい。印刷枚数が多ければPDFが表示されるまで少し時間がかかります。

印刷枚数 10枚

印刷実行

報告用紙見本

実際の報告用紙の画像



保護者用控え



医師が記入

⚠ 注意 ⚠

IDが重複するため、報告用紙の印刷は必ず被接種者一人あたり1部とし、コピー機などで複製しないでください。

4 マイページから新規接種例を登録する

⑤ 画面上部「新規接種例登録」をクリック

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ データ一覧 接種履歴 データ分析 ログアウト

ようこそ、多摩署子 (感染症 多摩) 様

■ マイページ ■

ログイン/ログアウト: 多摩署子 (kaya@nih.go.jp) プロフィール修正 QRコード印刷 質問とお答え(FAQ) ダウンロード

■ 新規接種例登録 ■

【新法】で接種後4・8週間の副反応を調査協力者自身が報告する場合はこちらで登録を開始して下さい。【QRコード法】で接種後のQRコード読み取りにて無症状報告を受ける場合は、まず上の「QRコード印刷」をクリックして下さい。

■ 自院接種データ閲覧 ■

接種4週間後の報告

接種した期間を選んで下さい。その期間におたふくかぜワクチンを接種した例を表示します。

2022年1月の接種例を抽出する

⑥ 接種時に記入した「被接種者登録カード」の内容を入力する

保護者に渡した報告用紙に印刷されている被接種者IDを入力して下さい

被接種者情報

保護者にわたしたちQRコード用紙の被接種者IDを入力して下さい。QRコードを利用せずに、電話などで保護者から副反応を確認する場合は、被接種者の「新法作成」をクリックして下さい。

被接種者ID

接種日 2022/1/15 入力例: 2022/1/15 または 2021/1/15

接種時年齢 1歳 0か月

性別 ☐ 男 ☐ 女

本接種の回数

※11期相当の年齢で初めて接種されても「1回目」を選んでください。

☐ 1回目 ☐ 2回目 ☐ 3回目以上

接種ワクチンメーカー

☐ 武田薬品 ☐ 第一三共

メモ ※400字以内

メモがある場合は入力し

確認ページへ進む

電話/対面で副反応の有無を確認する場合

二次元コードを利用せず、電話や来院時に副反応を確認する場合は、「**新規作成**」ボタンをクリックして被接種者に割り振るIDを発行して下さい。

入力が完了したらクリック

被接種者の登録は以上となります。ご協力ありがとうございました。